

1 「静岡市障がい者共生のまちづくり計画」に記載の個別課題

- ▶ 計画相談支援（障害児相談支援）は、実施する事業所が少なく、利用者やその保護者が自ら計画を作成する「セルフプラン」のケースも多く、また、相談支援専門員1人あたりが担当する障がい者の数が多いことも課題となっている。
- ▶ 要因としては、計画相談支援の報酬単価が低く経営が困難であることや、資格の取得要件が厳しく成り手がいないこと等が考えられる。
- ▶ 計画相談支援事業の運営を持続可能なものにするにはどうすればよいか、実施する事業者を増やしていくにはどうすればよいか、検討していく必要がある。

2 主な取り組み

(1) 静岡市障害者自立支援協議会 運営会議

令和元年6月13日に静岡市障害者自立支援協議会 運営会議を開催し、計画相談支援事業の充実について、「同一法人内のサービス利用者に限って計画を作成する計画相談事業所の課題」、「他市他県の実態調査の必要性」「静岡市の独自施策の必要性」等に関する意見交換を行った。

行政において他市他県の計画相談支援事業に関する独自施策の実態調査を行い、相談支援部会に報告を行う。

(2) 相談支援部会

目的	相談支援事業における課題を整理し、また相談支援事業に携わる関係者同士のネットワークを構築することにより、障害のある方が安心してサービスを利用し、日常生活や社会生活を営むことができるよう相談支援事業の充実を図る。
役割・内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定相談支援事業及び相談支援事業の体制の整備に関すること</li> <li>・指定相談支援事業及び相談支援事業の課題の共有及び解決に関すること</li> <li>・指定相談支援事業者及び相談支援事業者同士の連携に関すること</li> </ul>
令和元年度 部会員	<p>自立支援協議会委員：廣澤委員（部会長）、遠藤委員、飯塚委員、中村文久委員</p> <p>関係機関：障害者生活支援センター城東、静岡市支援センターみらい、障害者相談支援センターわだつみ、特定相談支援事業所、地域生活支援ネットワークコーディネーター、障害者相談支援推進センター、障害福祉企画課、障害者支援推進課、精神保健福祉課</p> <p>事務局：サポートセンターコンパス北斗</p>
平成30年度 活動内容	<p>○以下の2つのワーキンググループを立ち上げ、それぞれの活動内容について検討。</p> <p><b>グループ1</b> 計画相談支援事業所の増加について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画相談支援事業の利用状況等の現状を把握の必要性</li> <li>・わかりやすい加算一覧表を作成するための取組</li> </ul> <p><b>グループ2</b> 相談内容の質の向上について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談支援事業所の一覧表を作成</li> <li>・事業所の困りごとに合わせた勉強会の開催</li> </ul>

<p>令和元年度 活動概要</p>	<p>平成 30 年度に引き続き、2つのワーキンググループでの活動を予定。 相談支援事業所の職員であれば、部会員でなくてもワーキングに自由に参加できることを担保する。</p> <p><b>グループ1</b> 計画相談支援事業所の増加について ⇒計画相談支援事業所及び相談支援事業所の数の確保と維持・増加に向けた取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画相談支援事業の利用状況等の現状を把握する必要性</li> <li>・わかりやすい加算一覧表の完成 → 配布</li> <li>・各相談支援事業の役割分担を明確にし、関係機関への周知を行う</li> </ul> <p><b>グループ2</b> 相談内容の質の向上について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談支援事業所の一覧表の運用ルールの確立と活用を目指す</li> <li>・事業所の困りごとに合わせた勉強会の開催（隔月を予定）</li> <li>・各事業所の困りごとの事例をまとめ、より質の高い支援に向けた取り組み</li> </ul>
-----------------------	--

### (3) 子ども部会

令和元年度第1回子ども部会を令和元年7月8日に開催し、障がい児のセルフプランが多いという課題について検討を行った。静岡市内における障がい児のセルフプランの状況は別紙資料のとおり。